

分野	自己評価（4:大変よい 3:よい 2:努力を要す 1:すぐに改善）	学校関係者評価	平成29年度に向けた改善策	
学校経営	① 学校の教育目標（重点目標）を達成するために、日常の教育活動ができてきているか ＜結果＞ 学校教育目標を具現化する意識が高まり、生徒の姿に現れ始めた。	4	これまでの取組を進めていくとともに、心の教育を充実させてほしい。	<ul style="list-style-type: none"> ・目標の意識化の取組を行う ・取組の「質」を向上させる ・学年毎の達成目標を明確にする
	② 校務分掌の担当として、役割が果たしているか ＜結果＞ 担当間の連携や早期計画に心がけた業務の遂行を図る。	3	おにぎり弁当の日等、行事を工夫していただいていることがありがたい。今後も続けてほしい。	<ul style="list-style-type: none"> ・早期提案と共通理解の推進 ・進捗状況の確実な確認 ・各係の取組の合意形成
	③ 学級担任及び副担任が協力して、意図的・計画的に学級経営ができてきているか ＜結果＞ 相談や引継の連携がとれ、同一歩調で生徒への指導等ができて、円滑な学級経営ができた。	4	卒業式での生徒の態度や歌声が素晴らしかった。日々の先生方の指導と生徒とのつながりがあるが、今後も頑張ってもらいたい。	<ul style="list-style-type: none"> ・構想に基づく計画的な経営 ・担任副担任の役割分担の明確化と協働
	④ 学年会議を行い、学年の課題の共有が図られているか ＜結果＞ 時間の確保はできている。課題や議題を明確にして進めるとともに、日常の情報交換も行うことができた。	4	先生方の連携で子ども達が育っているのがわかる。新年度も協働体制をしっかりとつづけてほしい。	<ul style="list-style-type: none"> ・副担任や関係職員への周知徹底 ・指導の共通理解の推進 ・学年業務と校務分掌業務の両立
	⑤ 校内研修は、質・量ともバランス良く実施できているか ＜結果＞ 研究テーマを変更した初年度である。年間を通して全員の授業公開ができた。	3	SNSの問題や保護者の対応等、たくさん課題があると思うが、それに対応できる力を付けてほしい。	<ul style="list-style-type: none"> ・研修内容の整理と取組の明確化 ・一般研修、校内研修の時間確保
教育活動	① 教科担任として、教材・発問・板書の工夫等、授業づくりや指導技術の向上に努めているか ＜結果＞ 福岡県、筑豊、嘉麻市の事業に係る公開授業を7本実施し、研究報告や教育論文への応募等、資質の向上に努めた。	4	授業を公開して研修を進められていることは素晴らしい。今後も指導技術を磨いてほしい。	<ul style="list-style-type: none"> ・学力向上プランの周知徹底 ・考える力を身に付けさせる指導 ・板書計画とその改善 ・校外研修での力量の向上
	② 朝の学習活動や家庭学習の課題等、学力向上につながる創意工夫をしているか。 ＜結果＞ 取り組み方を改善し朝のスタートをしっかりと切り、家庭学習の習慣化をさらに進める必要がある。	3	朝のスタートがきちんと切れるようになるとうい。今後も一つ一つ丁寧にやってほしい。	<ul style="list-style-type: none"> ・朝学習の見直しと計画的推進 ・基礎基本の徹底を図る取組の充実 ・個に応じた指導体制づくり ・自学ノート実施の改善
	③ 人権学習や道徳の時間は、考えさせる場となり、今後の行動につながる時間となっているか。 ＜結果＞ 道徳の教科化に向けたカリキュラムの改善や日常活動で生徒の心を育てる取組を推進していく。	3	やる気を育てる、「気」を育てる教育を推進してほしい。	<ul style="list-style-type: none"> ・指導計画、教育内容づくり ・教師の学びと指導力の向上 ・学校行事等との関連を図る
	④ 学活や学校行事は生徒の自主性を引き出す取組となっているか。 ＜結果＞ 学校行事や新たな行事の取組を生徒の自主性を引き出せる機会に向上させていく必要がある。	3	P T A活動や新たな取組など、続けられることは続けて、続けられないことはやめて、活動を活性化させてほしい。	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒自らが課題を見つける取組 ・生徒会による行事の計画と運営 ・行事後の取組の充実
	⑤ 保護者や地域と連携した教育活動に取り組んでいるか。 ＜結果＞ P T Aと青少年育成住民会議の協働活動を継続させ、学校・家庭・地域の連携を促進させていく。	3	SNSの問題は、届けたい保護者に届かない実態がある。社会的な問題だが、啓発の工夫など根気強く続けてほしい。	<ul style="list-style-type: none"> ・通知を確実に家庭まで届かせる工夫 ・保護者との連携と参画意識の啓発 ・通信の充実
生徒の状況	① 生徒たちに、お互いを認め合う態度が身についているか。 ＜結果＞ 生徒一人一人と向き合う意識を教師が持ち、安心できる環境づくりが進んできた。	3	先生と生徒のつながりが生徒と生徒のつながりをつくっていくと思う。頑張ってもらいたい。	<ul style="list-style-type: none"> ・班活動の活性化と振り返り活動 ・自己や他者で評価できる場の設定 ・適切な言葉遣いや認め合う場の工夫
	② 学級集団には、お互いを支え合う雰囲気が育っているか。 ＜結果＞ お互いの良さを認め合える雰囲気ができてきた。これを継続させ、よりよい集団づくりをしていく。	3	卒業式での先生方の涙から先生方のご苦労や先生方の思いが感じられた。今後もよろしくお願ひしたい。	<ul style="list-style-type: none"> ・不登校生徒と学級のつながりづくり ・支持的風土と仲間意識の向上 ・教師間の連携と支え合い
	③ 生徒は、基本的な生活習慣（生活リズム、挨拶の習慣）が身についているか。 ＜結果＞ 家庭への啓発が課題スマホが子どもに与えている負の影響を保護者に根気強く啓発する。	3	スマホを持たせる機会等、保護者啓発のタイミングを工夫して、家庭と連携した取組を推進してほしい。	<ul style="list-style-type: none"> ・SNSなど保護者を巻き込んだ取組 ・生徒の個別の実態把握と声かけ ・遅刻、欠席解消の取組 ・生徒の言語環境と指導の徹底
	④ 生徒は、日常的に学習する習慣が身についているか。 ＜結果＞ 家庭学習を全くしない生徒がまだまだたくさんいる。改善に向けた取組が必要。	2	学習せずにスマホやゲームをしている実態がある。学習することが当たり前の意識を持たせる取組を工夫してほしい。	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校での学習の仕方の指導 ・小中連携の取組 ・宿題、自学の内容改善 ・家庭での学習の仕方の指導
	⑤ 生徒は、積極的に学習活動に参加し、学習内容に質問や疑問を出せているか。 ＜結果＞ 考える授業への転換と、主体的に学ぶ姿勢づくりを進めていく。	3	学習量を増やす工夫と学習に向かう意識の向上がまず必要。そのネックになっているのがスマホやゲームであることを今後も啓発してほしい。	<ul style="list-style-type: none"> ・進路を意識した指導の充実 ・学習規律の徹底と支持的風土づくり ・意欲を引き出す題材、導入、発問

【学校関係者評価委員からの意見】

- 携帯・スマホ、ゲームの問題は、外部講師を活用した啓発を行ったり、情報を届けたい保護者に情報が届く工夫を考えたりして根気強く取り組んでほしい。
- 行事の中で生徒が楽しんでいる様子がわかる。はじめた活動を継続、充実させ、より良い学校づくりを目指してください。
- 恵方巻作り等P T A活動で受け継がれていることがあり、とても嬉しい。学校に必要な活動は受け継いで、やめる活動は新しい活動にかえて盛り上げてほしい。
- 学校がずいぶん落ち着いて、先生方が力を合わせて生徒の教育に励んでいただいている。これを今後も続けてください。
- 青少年育成住民会議等、地域との連携をさらに進めてほしい。